

札幌市医師会における 地域包括ケアシステムの 取組み

在宅医療先進地域情報フェスタ2014
2015年3月1日 日本ガイシフォーラム

一般社団法人 札幌市医師会 副会長 今 真人

札幌市の人口(2015.1.1現在)

◆ 1,936,016人

・0歳～14歳:225,125人

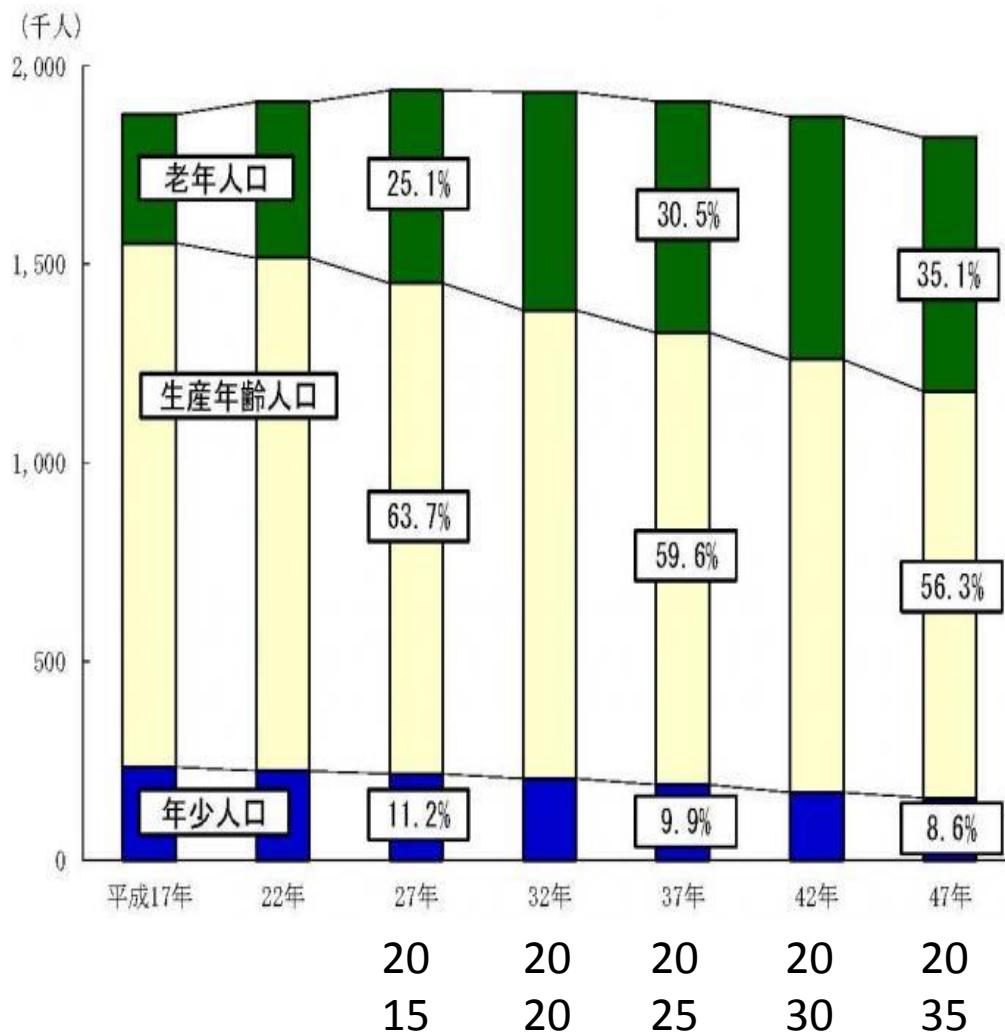
・15歳～64歳:1,250,056人

・65歳以上:460,835人

(うち、75歳以上:212,035人)

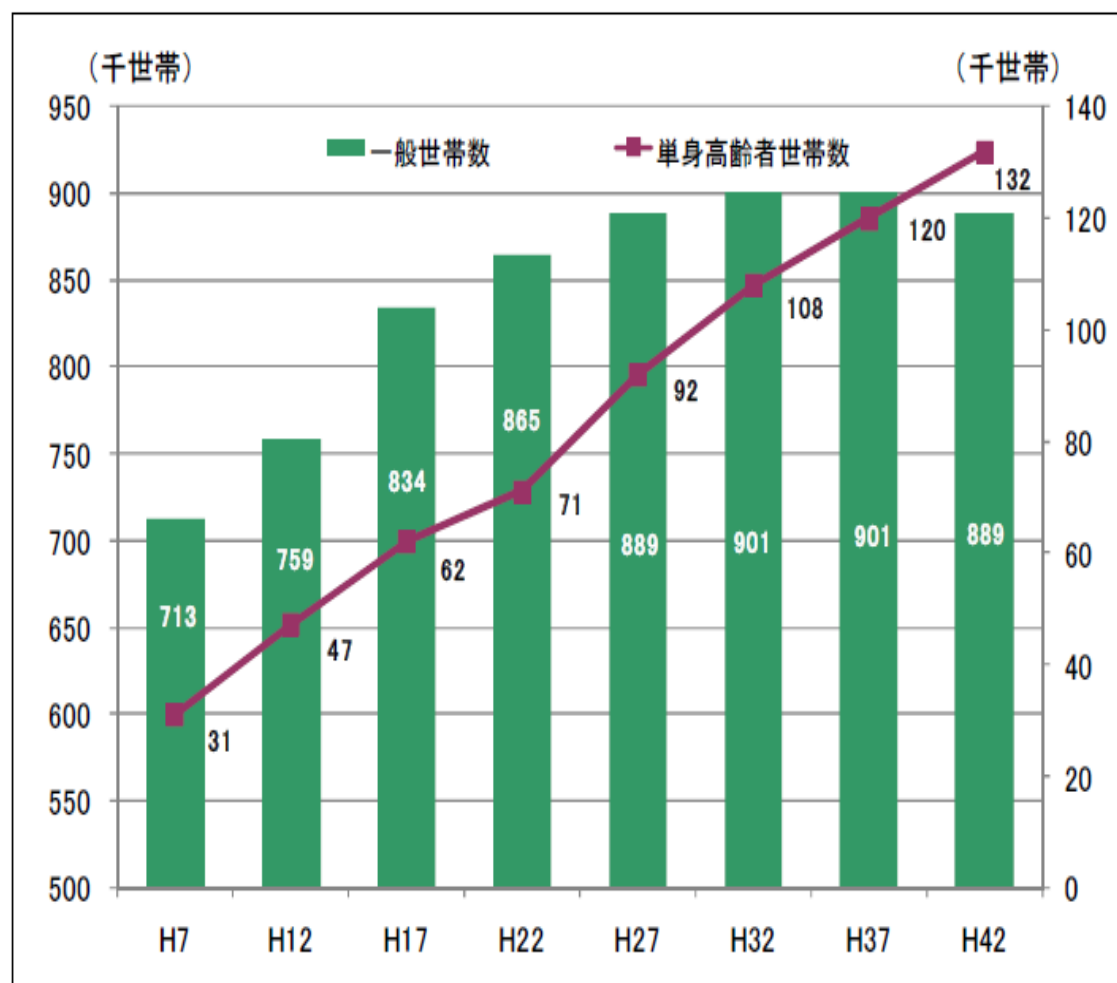
・平均年齢 男性:44.2歳 女性:47.2歳

札幌市将来推計人口の推移



【資料】 札幌市まちづくり戦略ビジョン関連データ

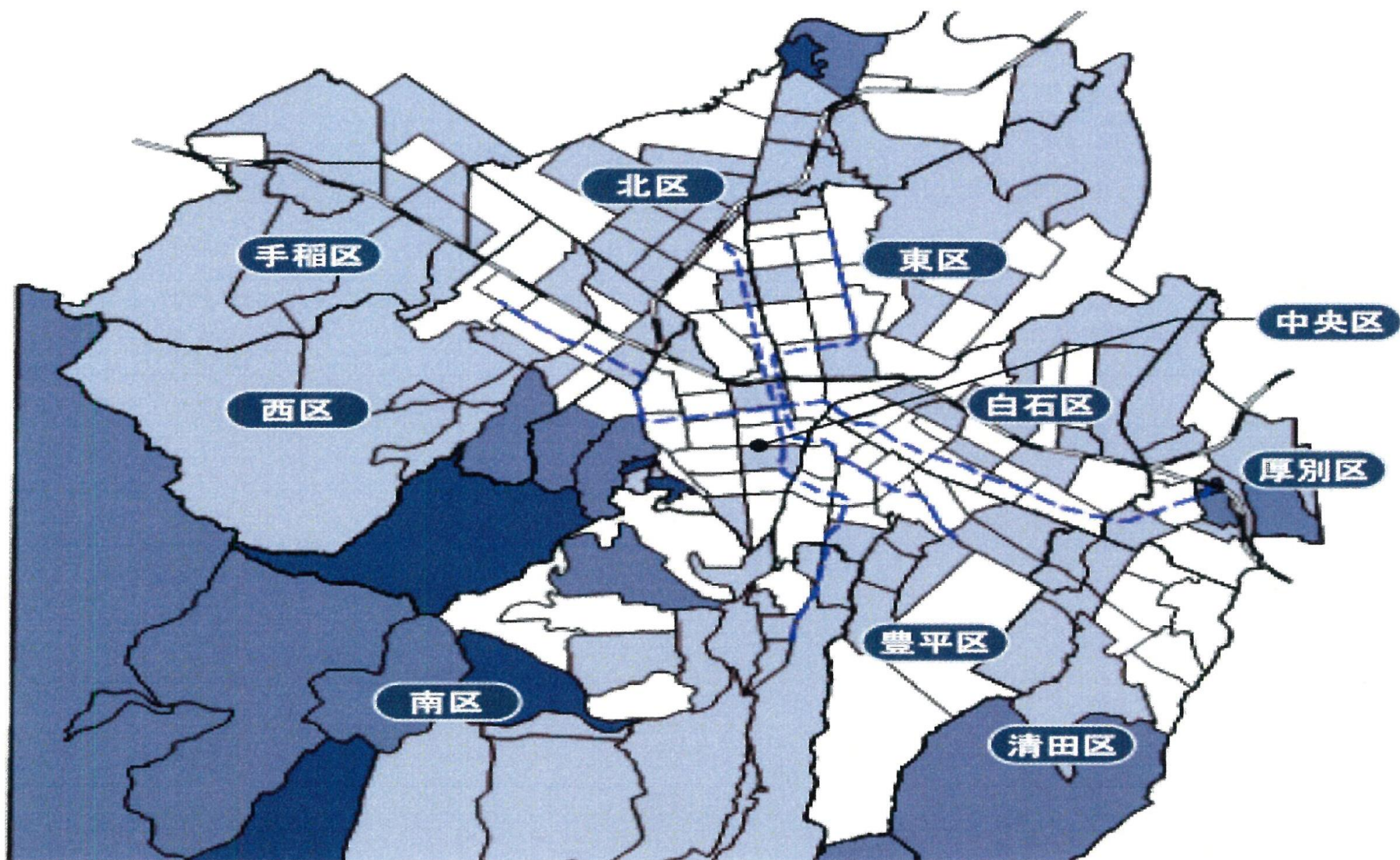
図 2-1-32 札幌市の一般世帯*数と単身高齢者世帯数の将来推計



一般世帯*数も平成 32 年以降、緩やかに減少する見通しです。この中で、小世帯化がさらに進行し、特に高齢者の単身世帯は増加し続け、平成 42 年には一般世帯*数の 15%、約 13 万世帯に達する見通しです。(図 2-1-31、図 2-1-32)

図 2 - 8 札幌市の統計区別高齢化率（平成22年10月1日現在）

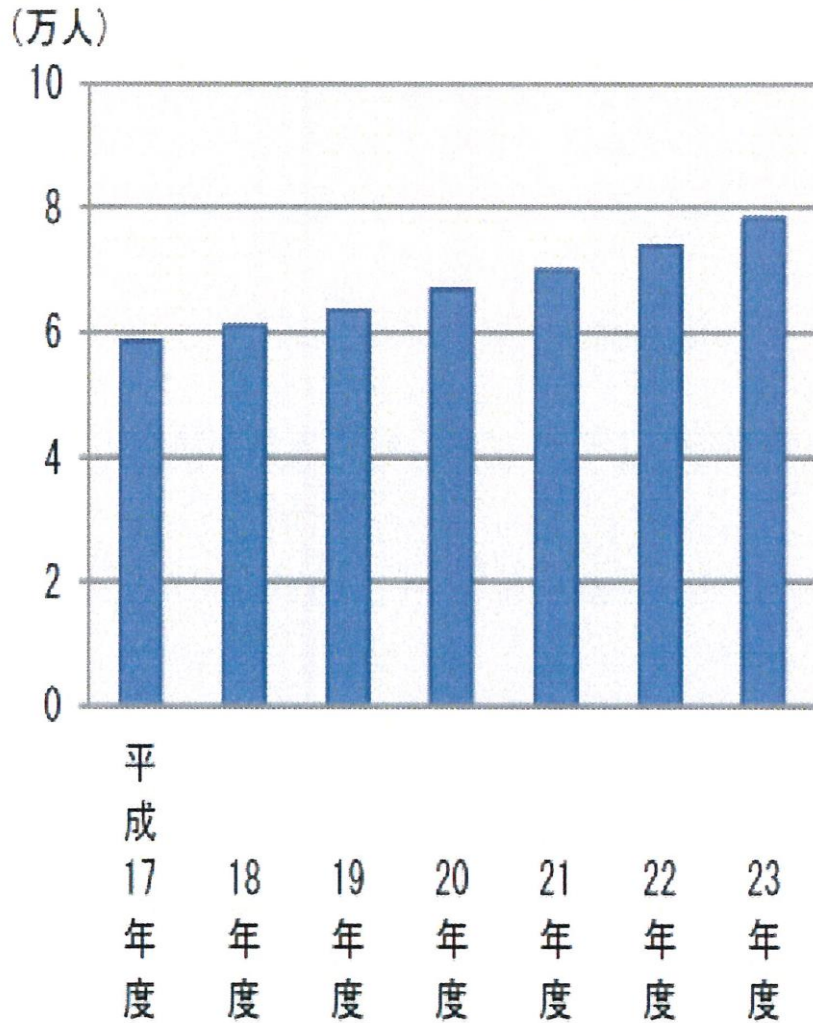
40%以上 30~40% 20~30% 20%未満



注：「国勢調査」の結果による。65歳以上の人口の割合 <資料> 札幌市

図2-4 要介護（要支援）認定者数の推移（各年度末現在）

平成26年12月31日
現在



	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2
全市	18,232	14,554	21,053	15,284
	19.20%	15.30%	22.20%	16.10%
	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
	8,880	9,000	7,840	94,843
	9.40%	9.50%	8.30%	

<資料> 札幌市

地域包括ケアシステム構築へ (地域医師会の役割)

- ・医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に行われる地域包括ケアシステムの構築に関しては、多くの医師会で行政と連携のもと委員会が開催され、課題の抽出やモデル事業の実施がなされている。今後在宅医療連携拠点事業に医師会が積極的に係るべきであると考える。

第52回十四大都市医師会連絡協議会

地域包括ケアシステム構築へ (地域医師会の役割)

地域包括ケアシステムの多職種協働体制の中で、医師は多職種と平等・対等の立場での参画は当然ではあるものの、必然的にそのシステムの中では医療が中核となり、その比重が重くならざるを得ない。従って医師は全体的な配慮のもとにコーディネーターとして活動すべきであり、他職種からもそのことを期待されていると思われる。

第52回十四大都市医師会連絡協議会

地域包括ケアシステムに関わる 札幌市医師会の取組み

1. 在宅療養支援システム(データベース)の構築

・24時間対応を基本とした、主治医ならびに待機主治医・専門医・後方支援病院、さらに訪問歯科医・薬剤師などとの連携システム

2. 多職種など関係機関との連携推進

・歯科医師会、薬剤師会、MSW協会等との連携体制構築に向けての意見交換、また、在宅患者の24時間受入れの対応等について、地域医療支援病院との意見交換を実施した。

3. 在宅医療に関する研修会及び事例検討

・医師等を対象として在宅医療の推進に向けた研修会の開催、在宅医療に取り組んでいる医師や多職種の方を対象とした事例検討や勉強会を開催している(各区支部)。

4. 在宅医療に関する市民向け講演会の開催

日 時 平成27年2月28日(土) 午後1時30分

場 所 札幌市医師会館 5階大ホール

テーマ 「在宅で過ごすということ」

講 師 医療法人社団三育会 新宿ヒロクリニック

理事長 英 裕雄 先生

札幌市地域ケア会議の体制（案）

札幌市介護保険課

会議の
階層

全市

区

地区

個別

機能

政策形成機能

地域づくり・
資源開発機能

ネットワーク構築機能

個別課題解決機能
地域課題発見機能
ネットワーク構築機能

地域ケア会議

札幌市地域ケア推進会議

- 市レベルの地域課題の協議・好事例等の共有・普遍化
- 構成員は常任委員（固定）と臨時委員（任意）
- 議題に応じて地域包括支援センター運営協議会を同会議に置き換えて実施。

区地域ケア推進会議

- 区レベルの地域課題の協議・好事例等の共有
- 構成員は固定メンバーと任意メンバー

地区地域ケア会議

- 地区レベル（基本は介護予防センター単位）の地域課題の協議・好事例等の共有
- 構成員は議題に応じて調整

個別地域ケア会議

- 多職種連携による個別事例の総合的な検討、地域課題の抽出
- 構成員は議題に応じて調整

市・区のバックアップ機能

札幌市介護保険課

- 地域ケア会議全体の運営体制の統括

区・地域包括支援センター・介護予防センター連絡会議・地区連絡会議 （区保健福祉課主催）

- 地域ケア会議で検討する地域課題の選定（地域包括支援センターの業務から選定するケースを除く）
- 地域課題の検討を行う地域ケア会議（区・地区）の運営準備
- 平時の様々な業務で集めた地域情報の地域ケア会議における共有及び活用
- 多職種連携の調整
 - ・連携が必要な関連会議等との調整
 - ・アドバイザー派遣の調整
- 残された課題、好事例、有効な解決手法などを整理。各階層の地域ケア会議相互で共有
- 個別事例の検討に関する相談・助言

連携が必要な関連会議等

プライマリケアを地域に提供し
研修医を育てながら
多機能な診療所を軸として
地域包括ケアを実現する取り組み

在宅医療先進地域情報フェスタ2014
医師を軸とした連携による面展開

2015年3月1日 日本ガイシフォーラム

医療法人溪仁会手稲家庭医療クリニック
院長 小嶋 一

当院における在宅医療連携拠点事業の特徴

家庭医療

研修医教育

在宅ケア連絡会

医師会









*1) 図中のアルファベットは札幌市内の主な急性期病院（カッコ内は病床数）

- | | | | |
|-----------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|
| A 札幌厚生病院 (519) | B 北海道がんセンター (520) | C 北海道医療センター (500) | D 中村記念病院 (504) |
| E 札幌医大病院 (938) | F 市立札幌病院 (772) | G 北大病院 (946) | H 手稲溪仁会病院 (550) |

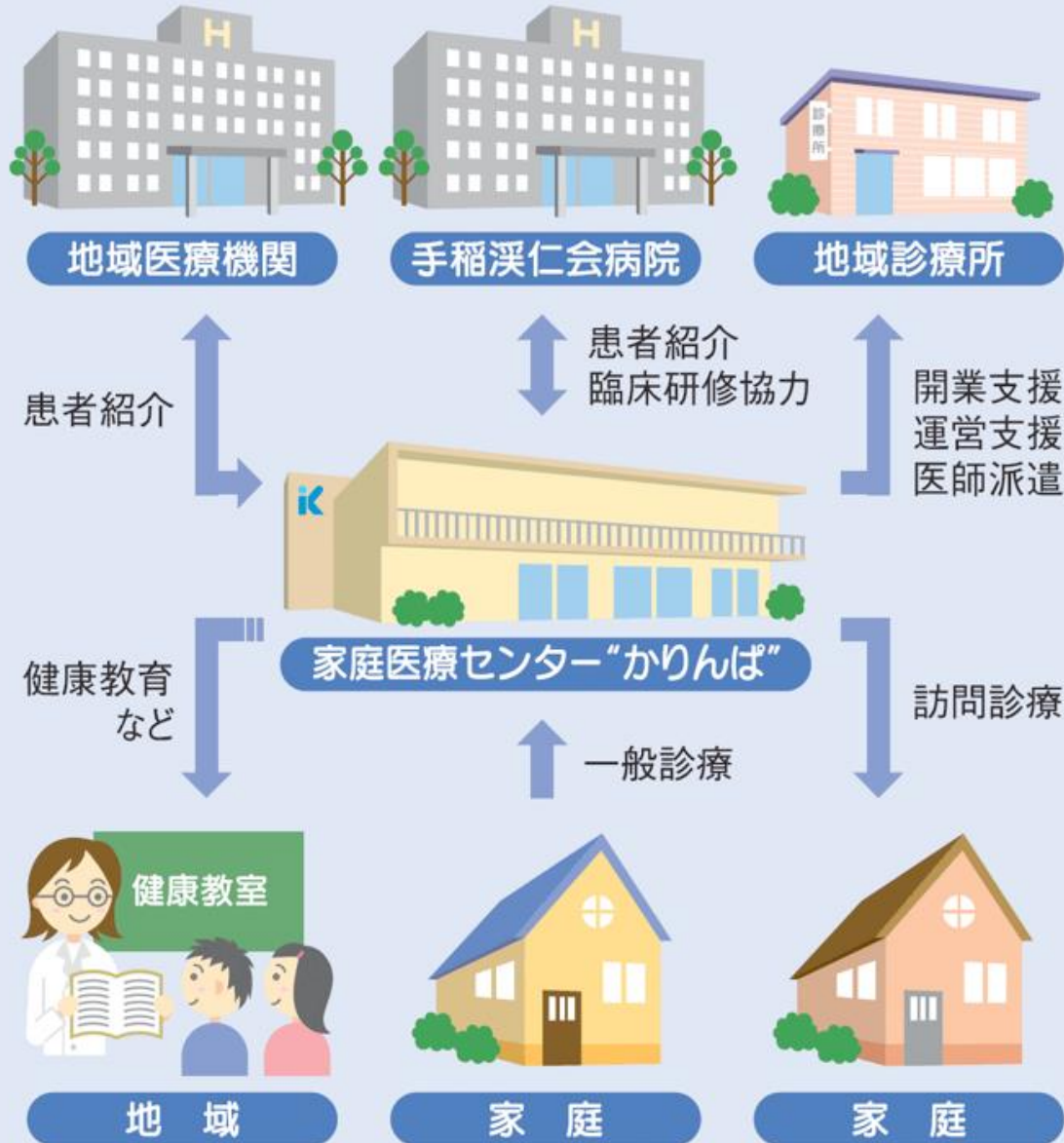
*2) 各地域の人口は、住民基本台帳ネットワークシステムの2011年6月末の数字

医療法人 済仁会
手塚家庭医療クリニック



内 科
小児科
産婦人科

地域での家庭医療センターの位置付け





手稻家庭医療クリニック スタッフと研修医

指導医4名
後期研修医8名
初期研修医4名

手稻家庭医療クリニック

- **外来**診療：内科・小児科・産婦人科 他院から精査目的の紹介も少なくない
- **訪問**診療：認知症、若年者、癌終末期も（～100名） 専属看護師2名+MSW
- **入院**診療：癌終末期の方の症状緩和と家族との大切な時間を（年間看取り120名）
- 様々な医療機関や職種との連携：訪問看護ステーション・リハ・栄養士・薬剤師
- 健康な地域づくり：地域での講演会、患者グループ会、学校や職場へ
- 家庭医養成と地域支援
 - 後期研修医8名、初期研修医4名、指導医4名、実習見学医学生／研修医多数
 - 余市協会病院、江別市立病院、倶知安厚生病院、喜茂別町立クリニック+a

手稻溪仁会病院

- ・ 1987年開院 595床 急性期総合病院
- ・ 総合内科外来＋病棟
- ・ 救急外来:ドクターヘリ、救急車、ウォークイン
 - 総症例数4380人(うち3次要請306例、ドクターヘリ172例、小児568例)
- ・ 急性期総合病院、紹介型外来、24時間救急など高度医療は学べるが、症例には高次医療機関ならではの偏りがある



12丁目

樋口電気
工事店

手稲溪仁会クリニック

手稲溪仁会病院

マイルーム
前田

ていね薬局

住友生命
手稲分館

ハイツ
まさはるB

手稲駅前郵便局

函館本線

北口

手稲

手稲本町1-3
手稲本町2-4

4丁目

3丁目

千葉ビル

ピュアコート
くにしげ

ブックストアー

手稲駅北通

手稲駅北通

前田2-11
前田1-11

札幌市手稲区役所

保健センター

手稲ネフロクリニック

(株)北洋銀行 手稲
区手稲中央支店

広瀬ビル
管理(事)

前田2条

つくし
調剤薬局

松本マンション

レポン・ティネ

10丁目

前田2-10

たけうち
薬局さくら店

ラピス
ガーデン手稲

(株)寺内
弓具店

86及川ハイツ

第2コーポタケシ

44

パポッ

前田
前田



手稲における医療の現状

- ・ 地域基幹病院／総合病院／救急病院として手稲溪仁会病院（562床）に依存した医療圏
 - 救急外来（walk-in & 救急車） 総合内科外来 手稲家庭医療クリニック
- ・ 脳外科、精神科、亜急性期～療養型の病床は豊富
- ・ 62カ所の医院（眼科4、皮膚科3、産婦人科3、耳鼻科5、小児科13、整形3）うち有床診療所12（産5、整2など）
- ・ グループホーム21カ所、老人介護保健施設4カ所、特別養護老人ホーム6カ所と箱もの介護施設も豊富

手稲は「ベッドが多く」「開業医が少ない」

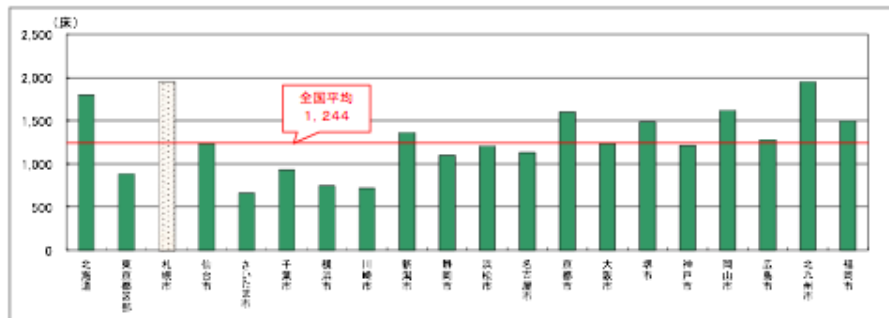
●→診療所の負担は他の都市よりも大きい

● (東京の逆パターン)

●→1診療所あたり人口約4500人

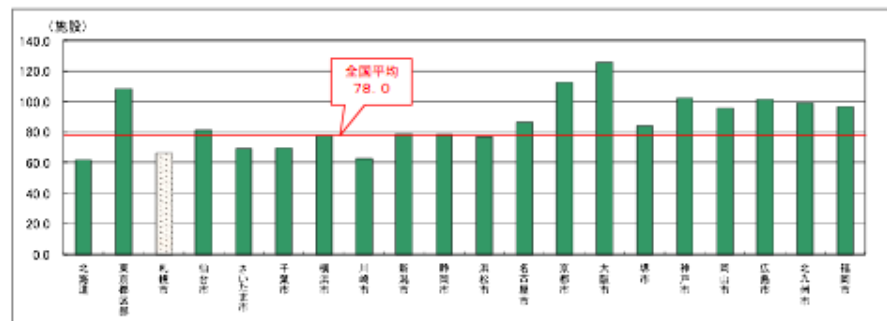
● (全国平均は約2500人)

図 2-1-3 人口 10 万人あたりの病床数(病院)



出典：厚生労働省「平成 22 年医療施設調査」(平成 22 年 10 月 1 日現在)

図 2-1-2 人口 10 万人あたりの一般診療所数



出典：厚生労働省「平成 22 年医療施設調査」(平成 22 年 10 月 1 日現在)

札幌市という地域での当院の役割

- 隙間のない診療所医療の提供
- → 「幅広い家庭医療の提供」
- → 「一般診療所にはない機能の充実（MSW、連携拠点、教育）」
- → 「機能強化型在宅療養支援診療所」
- 豊富な病院病床を活かすための有床診療所としての病床機能
- → 緩和ケア・終末期医療
- 家庭医の養成

COPCとしての手稲家庭医療クリニックプロジェクト

Community Oriented Primary Care(COPC)とはコミュニティを対象としたプライマリケアで、疫学など公衆衛生の手法を用いて進めるのが特徴。手稲家庭医療クリニックの立ち上げ・運営はまさに手稲地区でのCOPCそのものであり、表1に示すような各ステップを分析しながら事業を進めている。図1に示すようにCOPCの各ステップは相互に影響を及ぼし合っていることを意識しながら各ステップを随時更新していくことが重要。

ステップ	手稲家庭医療クリニックでの具体例
1:コミュニティの定義とその特徴の明確化	手稲溪仁会病院周辺。札幌市はずれの住宅地で、高齢化率も全国平均並み。急性期病院を中心に医療資源は豊富な地域。
2:コミュニティとの連携	急性期病院と療養型病床を持つ病院、周辺の開業医との連携。行政、医師会、町内会などとの連携が有機的ではない。
3:コミュニティの健康問題を抽出	急性期医療や従来型の開業医によるプライマリケアは提供されているものの、家庭医療・総合診療という視点での包括的なケアや地域連携は不十分。独居や認知症、虚弱者など主治医を持たない高齢者が急変して急性期病院に運ばれるという状況が後を絶たない。在宅医療の担い手が少ない。地域にホスピスがない。
4:介入の計画と実践	手稲家庭医療クリニックで地域に家庭医療を提供。外来・在宅・緩和ケア病棟で地域に不足しているケアを集中的に提供。研修プログラムを内包することで継続的に医療の担い手を育成し、北海道全体の地域医療にも貢献。
5:介入の効果を評価	患者数の推移、病棟・在宅での看取り数の推移、手稲溪仁会病院の救急受診者の推移など

当院の家庭医育成のビジョン

- **都市で育て地域を支える**：都市部で研修を効率的に。都市部という地域での実践と、僻地を含む様々な地域での研修を実力にかえる。都市部での豊富な医療資源と、確立されたネットワーク（例えば札幌市在宅ケア連絡会、札幌市医師会など）を研修中に熟知する。僻地など資源とネットワークに恵まれない地域での活動でも戸惑わないように。
- **優れたロールモデル**のもと、現代的な教育方法で本物の家庭医療／総合診療を学ぶ：米国家庭医療専門医2名、離島診療経験者2名など。指導医は臓器専門医との兼務／転向も。指導医養成コース修了者。
- **グループ診療としての研修プログラム**：研修医も指導医もグループで診療することで単独診療とは異なる厚みを実現。24時間対応、生涯教育、地域支援や教育活動をサポート。
- 民間医療機関ならではの**経営管理能力**開発：経営管理学修士在籍。民間医療機関として様々な取り組み。自立／継続可能な医療の組み立てを研修中に学ぶ。
- **屋根瓦方式**：初期研修から既に医学生の指導を担当。指導方法を実地で学ぶ。様々なスタイルの教育機会に恵まれた環境。

既存のネットワークを活かした多職種連携 →在宅ケア連絡会を中心とした取り組み

手稲区在宅ケア連絡会

在宅医療を推進するうえでの課題を抽出
重要課題の絞込み
重要課題に対する具体的な解決策の検討

幹事会

推進事務局担当者

札幌市手稲区役所、札幌市医師会手稲区支部、札幌市歯科医師会手稲区支部
札幌市薬剤師会手稲区支部、札幌市訪問看護ステーション協議会

在宅医療連携拠点事業推進協力者

代表が参加し、重要課題について検討

手稲区社会福祉協議会、手稲区地域包括支援センター、介護予防センター、老人福祉センター、大学、札幌市介護支援専門員連絡協議会手稲区支部、施設サービス事業者代表、地域密着型サービス事業者代表

まちづくりセンター、連合町内会
民生委員、商店街組合

地域住民が考えている課題の抽出

